

水師營方向ヨリ来進ストノ報告ヲ受領シタリ然
レハ渡邊少佐ハ之ヲ以テ水師營方向ニ出タル友
軍偵察隊ヲ或ハ敵ノ此偵察隊ヲ追跡スルモノニ
シテ更隊ニ向テ来進スルモノニテトナシ要兵
第十中队及騎兵小隊ヲ後衛トシテ徐々歸還ニ就
キ竜頭ニ至リ支隊ヲ止メテ休憩シテ下士待候ヲ敢
ワテ此地ヨリ敵ノ防線ノ右翼ニ通スル道路ヲ
偵察セシメワ、アリシヲ此時後衛騎兵ハ敵ノ騎
兵數百急進シ来リテ既ニ追進シ尚ホ數多ノ歩兵
之、跟隨シ来レル者ヲ急報セリ依テ支隊ハ急ニ

諸軍は、日軍復
發後、追撃ス

皆進ヲ始メ後衛司令官櫻井大尉ハ後兵タル一小
隊長中尉松ヲシテ竜頭北方ノ丘阜ニ陣地ヲ占メ
支隊ノ退却ヲ掩護セシム時ニ午後一時十分ナリ
偵史ニシテ敵ノ歩騎兵數百竜頭西方ノ高地ヲ占
領シ猛烈ナル射撃ヲ開キ松前小隊ハ之ニ對シテ
頗ル苦戰ニシタルヲ未テ敵ノ右翼ニ向テ派遣シタ
ル下士待候歸還セタルヲ故ニ小隊ハ退却スル能
ハス防戦ニタリタルヲ午後一時過キ至テ敵ハ
進シテ三四百米突ノ地ニ迫リ漸ク松前小隊ヲ包
圍セントスルニ至リシヲハ此小隊ハ止テ得テ退

却ヲ始メ櫻井大尉ハ其一小隊長ヲ傳家庄
ノ東北高地ニ配置シテ松前小隊ヲ收容セシム吉
原小隊ハ奮戦シテ敵ヲ拒止ス此ノ時先トノ下士
作原本道上ヲ退却シ來セ敵ヲ發射シ彈丸雨ノ如
シ吉原小隊ハ幸フシテ之ヲ收容シタル後テ退却
シ敵ノ突撃ヲ免ル在リ本道及側方ヨリ烈シク之ヲ
尾撃セシメ以テ渡邊少佐ハ第九中隊ヲ率ヘ下
馬ノ退却セシメ午後四時迄云々敵ニ向中隊ノ
若干小隊ヲ襲撃、配備シ其他ヲ豫備トシ防戦シ

タリ敵無敵ニ至テ進退シ本道上ヲ進退シ未
モノハ約八百米突ノ前方ニ停止シ分水嶺子北方
ヲ經テ進退シ未レルモノハ安子嶺北方高地ニ達
シタル後テ退却シタリ茲ニ於テ支隊ハ日没後敵
ノ進路ヲ攔クルヲナク安子嶺ヲ出發シ午後十時
馬蘭澤周家屯ニ着シテ此ノ宿営セタリ
十六日マテニ於ケル西支隊ノ行動以上ノ如クニ
シテ此夜、於ケル同支隊諸隊ノ位置ハ第一指圖
ニ示スル如シ

却テ翌々第二軍ノ諸團隊ハ既、本篇第四十六章

〃 説キタル如ク十一月十三日、於テ第十附
 團、揚々タル如ク概ニ集合ツ了シ又未タ集合シ
 得ナリト諸隊ノ進合運動中、在ルモノ國界ノ
 近ハ近クモ十五日マテ、金州附近ニ到着スル
 確實トナリ又本國ヨリ輸送中、在ル攻城敵（徒歩
 砲兵、聯隊第六中隊）ハ去ル十日守品港ヲ出發シタ
 ルノ確証アリテ近クモ十五日、ハ大連灣、到着
 スルヲ知ルタルヲ故ニ軍司令官ハ提率自ラ使
 登岸候ヲ派遣シテ將タル報告及十二日マテニ於
 ケル西支隊ノ使望ヲ得ルニ聞スル諸報告、依

力一柳司

東

海軍少佐 深田ノ草葉ノ後ス

金品城中備隊

步兵第十五聯隊(大隊欠)步兵第十五聯隊

騎兵第一大隊/一小隊騎兵第一大隊

搜索騎兵

長 陸軍騎兵少佐林山好吉

騎兵第一大隊(二小隊半欠)第一聯隊上中隊步兵第二聯隊上中隊步兵

左翼縱隊

長 陸軍步兵中佐益瀨卯介

步兵第十四聯隊(大隊欠)步兵第十四聯隊

騎兵第六大隊/一小隊騎兵第六大隊

野戰砲兵第六聯隊/山砲一中隊

工兵第六大隊第二中隊(一小隊欠)

糧食半縱列步兵第十四聯隊

右翼縱隊

第一師團(步兵聯隊本部一個、同二大隊、步兵第十五聯隊第一中隊)

步兵第十五聯隊(步兵第十五聯隊) 騎兵大隊本部同一中隊、三小

隊(步兵第十五聯隊) 大小架橋縱列、馬廠欠

混成旅團(步兵一聯隊、騎兵中隊本部同三小隊半、山砲一中隊)

步兵第十五聯隊 工兵中隊本部同三小隊、衛生隊半、糧

食半縱列欠

攻城敵(後備工安中隊、ノル)

以上軍隊區分ノ外第一師團ノ歩兵二中隊、

第二師團(二、五分隊)ノ騎兵中隊、

只、混成旅團ノ歩兵一中隊、

八、龍子窩、在

一、大連灣岸備隊ハ、無敵監ノ指揮、

附近ノ岸備軍用建造物ノ看守、任ス

二、金石岸備隊ハ、本隊、直轄シ金石城内外

ノ岸備軍用建造物ノ看守、

何、隊、後州街道、通スル道路ノ警戒、任ス

三、搜索騎兵ハ、行軍間ハ、軍ノ前面、在リ搜索警戒

或ハ旅順攻撃、際シテハ、軍ノ側面ヲ警戒ス

四、左翼縱隊ハ、十一月十七日蘇家屯附近ヲ出發

シ三道口、金溝、盤道ノ諸村落ニ通スル道路ヲ

經テ十一月二十日旅順地方ニ開進

五、右翼縱隊ハ、十一月十八日三十里堡附近出發

金石ヨリ旅順、通スル大街道ヲ經テ二十日

第一師團ハ、本道及其西側賈家山附近

ニ開進、混成旅團ハ、本道ノ東側太子山附近

ニ開進、攻城敵ハ、李榮化ノ北方ニ集合